



第 32 回 全日本学生選手権個人ロードレース大会

2016年6月11日(土)~12日(日) 長野県木曾郡木祖村・奥木曾湖周回特設コース
主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催:(公財)日本自転車競技連盟 長野県自転車競技連盟
後援: 木祖村 木祖村観光協会 協賛: 株式会社パールイズミ ブリヂストンサイクル株式会社
公益財団法人 JKA 社団法人全国競輪施行者協議会 やぶはら高原イベント
実行委員会 公益財団法人日本自転車競技会 一般社団法人日本競輪選手会 協力: 独立行政
法人水資源機構味噌川ダム管理所 木曾広域消防本部 株式会社日直商会

平成 28 年 6 月 2 日
大会総務委員長 古川 利勝
Communiqui1

1. エントリー資格について

本大会参加資格者は本連盟「大会参加基準」とおり、ロードカテゴリ1および2の者とする

2. スタート&フィニッシュ場所

- (1) スタートは大会本部を設置するダム管理所前から行う。スタート・チェック署名は大会本部前で行う。
- (2) 最終回はスタート・ライン先のT字路を左折し、柳沢尾根公園頂上でフィニッシュする。
- (3) 奥木曾湖周回特設コースを youtube に配信中です。以下アカウントにアップしています(17:26)
<https://youtu.be/ukBDRfnNutA>

3. コースに関する諸注意

- (1) 奥木曾湖の周回道路は、競技期間中は原則として自転車・自動車とも、時計回りの一方通行とする。
スタート 15 分前までに、チーム車両は競技コース上から退去しなければならない。
器材ピットへの移動、応援などのためのチーム関係車両を駐車することができるのは、P.3 前方および P.7 近傍の路外のみとする。
これらコース上の車両には、5. に示す「チーム車両<通行・駐車>許可証(学校名および連絡先記載必須)」をフロントガラスに掲示すること。
また、退去できなかった車両は競技終了まで移動することができない。
- (2) 競技開始 15 分前以降は、フィニッシュ地点の柳沢尾根公園には、チーム関係車両は存在してはならない。
柳沢尾根公園へは、道路を使って移動すること。斜面の階段の使用は認められない。
これに違反し、コース上もしくは柳沢尾根公園に車両が残っていたチーム、また、移動に階段を使用したチームには、当該チームの選手の失格を含めた制裁を与えることがある。

4. コースの試走について

- ・コースの試走は、両日ともサインチェックの開始前まで認めるものとする。時計回りで試走を行うこと。
- ・交通規制外の時間は一般車両も通行しているため、安全に十分に注意の上、試走を行うこと。
※交通規制時間は、6月11日:9時00分~17時00分、6月12日:6時00分~14時00分である。

5. 車両表示について

- ・事前に日本学生自転車競技連盟のホームページよりダウンロードし、プリントアウトした「チーム車両<通行・駐車>許可証(学校名および連絡先記載必須)」をフロントガラスの見やすい個所に掲示している車両のみがコースに入る事が認められる。
- ・そして、チームの指定駐車場(6. 駐車場についての(1)に記載)には、同じ「チーム車両<通行・駐車>許可証(学校名および連絡先記載必須)」をフロントガラスの見やすい個所に掲示した車両のみが駐車できるが、次の6. 駐車場についての(1)にあるように台数の制限があるので、それに従うこと。

6. 駐車場について

- (1) チームの指定駐車場は、「P18トンネル出口付近の湖岸駐車場」とする。各校1台までを原則とするが、5名以上のエントリーがある学校は2台目の駐車を認める。駐車場への入場については、関係役員が駐車車両のチーム名と台数をチェックするので、許可なく入場することを禁ずる。このエリアは狭いので、山側の路側帯に縦列駐車をを行い、ダム側の道路は車両の通行がで





第 32 回 全日本学生選手権個人ロードレース大会



2016年6月11日(土)~12日(日) 長野県木曾郡木祖村・奥木曾湖周回特設コース
主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催:(公財)日本自転車競技連盟 長野県自転車競技連盟
後援: 木祖村 木祖村観光協会 協賛: 株式会社パールイズミ ブリヂストンサイクル株式会社
公益財団法人 JKA 社団法人全国競輪施行者協議会 やぶはら高原イベント
実行委員会 公益財団法人日本自転車競技会 一般社団法人日本競輪選手会 協力: 独立行政
法人水資源機構味噌川ダム管理所 木曾広域消防本部 株式会社日直商会

きるように開けておくこと。車両前後間隔は、ハッチを開けるだけのスペースとし、出来るだけ詰めて駐車すること。ただし、エントリー数が 10 名以上で、大型車を使用する必要がある学校は、事前に大会本部の許可を得る必要があると同時に、「P18 の木曾川源流ふれあい館の奥にある大型車用の駐車場」に 1 台のみ駐車を認める。これらの駐車台数の制限を守らなかったチームについては、当該チームの選手の失格を含めた制裁を与えることがある。

- (2) また、上記の(1)の2か所のチームの指定駐車場において、車両の駐車スペースおよびコース内へのテント等の設営は固く禁ずる。もし、これに違反する場合、1万円のペナルティとともに当該チームのテントの撤去および車両の駐車場外への退去を命ずる。なお、テントの設営は原則として「P18 トンネル出口付近の湖岸駐車場」に隣接した湖岸側の緑地に許可するが、各校 1 張りとする。
- (3) 会場付近は駐車できる場所が少ないので、許可車両以外は宿舎等に駐車しておくこと。
- (4) 6月11日(土)の女子レース参加者の車両に関しては、各校 1 台まではダム管理事務所脇の「テニスコート」への駐車を許可する。
- (5) ダム管理事務所脇のテニスコートは大会役員用の駐車場であるが、時間内にチームの指定駐車場に入ることができなかったチーム車両およびチームの指定駐車場が満車の場合に臨時的な駐車を可能とする。ただし、この場所にもテント等の設営は認めない。これに違反する場合、1万円のペナルティとともに当該チームのテント撤去および車両の駐車場外への退去を命ずる。また、あくまでも大会役員の車両優先の為、駐車出来ない場合もある。
- (6) 指定駐車場への進入路はレース・コースを逆走することになるので、十分注意すること。



第 32 回 全日本学生選手権個人ロードレース大会



2016年6月11日(土)~12日(日) 長野県木曾郡木祖村・奥木曾湖周回特設コース
 主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催:(公財)日本自転車競技連盟 長野県自転車競技連盟
 後援: 木祖村 木祖村観光協会 協賛: 株式会社パールイズミ ブリヂストンサイクル株式会社
 公益財団法人 JKA 社団法人全国競輪施行者協議会 やぶはら高原イベント
 実行委員会 公益財団法人日本自転車競技会 一般社団法人日本競輪選手会 協力: 独立行政
 法人水資源機構味噌川ダム管理所 木曾広域消防本部 株式会社日直商会

大会総務委員長 古川 利勝

1. 大会のスケジュール(時呈表)について

本大会の時呈表は下記のとおりで予定している。

6月11日(土)		
11:30~12:00	選手受付(女子 + 男子) ※	大会本部前
11:30	競技役員打合せ	大会本部前
12:20	女子監督会議	大会本部前
12:20~12:45	サインチェック	大会本部前
12:45	開会式(女子)	大会本部前、スタートラインにて
13:00	女子レース・スタート	100 km (9 km × 11 周+1 km)
14:30~15:00	選手受付(男子) ※	大会本部前
16:00(予定)	女子表彰式	大会本部前、スタートラインにて
6月12日(日)		
7:00	競技役員打合せ	大会本部前
7:10~7:45	サインチェック	大会本部前
7:20	男子監督会議	大会本部前
7:45	開会式(男子)	大会本部前、スタートラインにて
8:00	男子レース・スタート	181 km (9 km × 20 周+1 km)
13:00(予定)	男子表彰式・閉会式	大会本部前、スタートラインにて
15:00	あと片づけ・解散	

※注: 6月12日の当日受け付けは行いませんのでご注意ください。

2. ゴミ投棄厳禁の徹底

- ・ゴミは、各校で必ず責任を持って持ち帰ること。特に本会場は、ダム水源という自然環境を保護すべき地であり、会場内でゴミのポイ捨てが発覚した場合には、4,000 円/件のペナルティーを科すものとする。
- ・競技中の選手が、**ボトル、食料、包装紙等を道路上に落とすことができる区間は、補給区間前後のダム上、および、P.1 地点手前までの指定された区間のみ**に限定される
(「3. コースマップ」参照)。
- ・周辺にいるチーム関係者は、他校選手分も回収に協力されたい。
- ・競技中、上記区間外でボトル、食料、包装紙などを、廃棄した競技者には、3,000 円/件のペナルティーを科す。

3. コースマップ本大会のコースマップ(コース全体図、断面図およびフィニッシュ掲示するので、参照の事)



この自転車競技大会は、『競輪公益資金』の補助を受けて開催するものです。



第 32 回 全日本学生選手権個人ロードレース大会

2016年6月11日(土)~12日(日) 長野県木曾郡木祖村・奥木曾湖周回特設コース

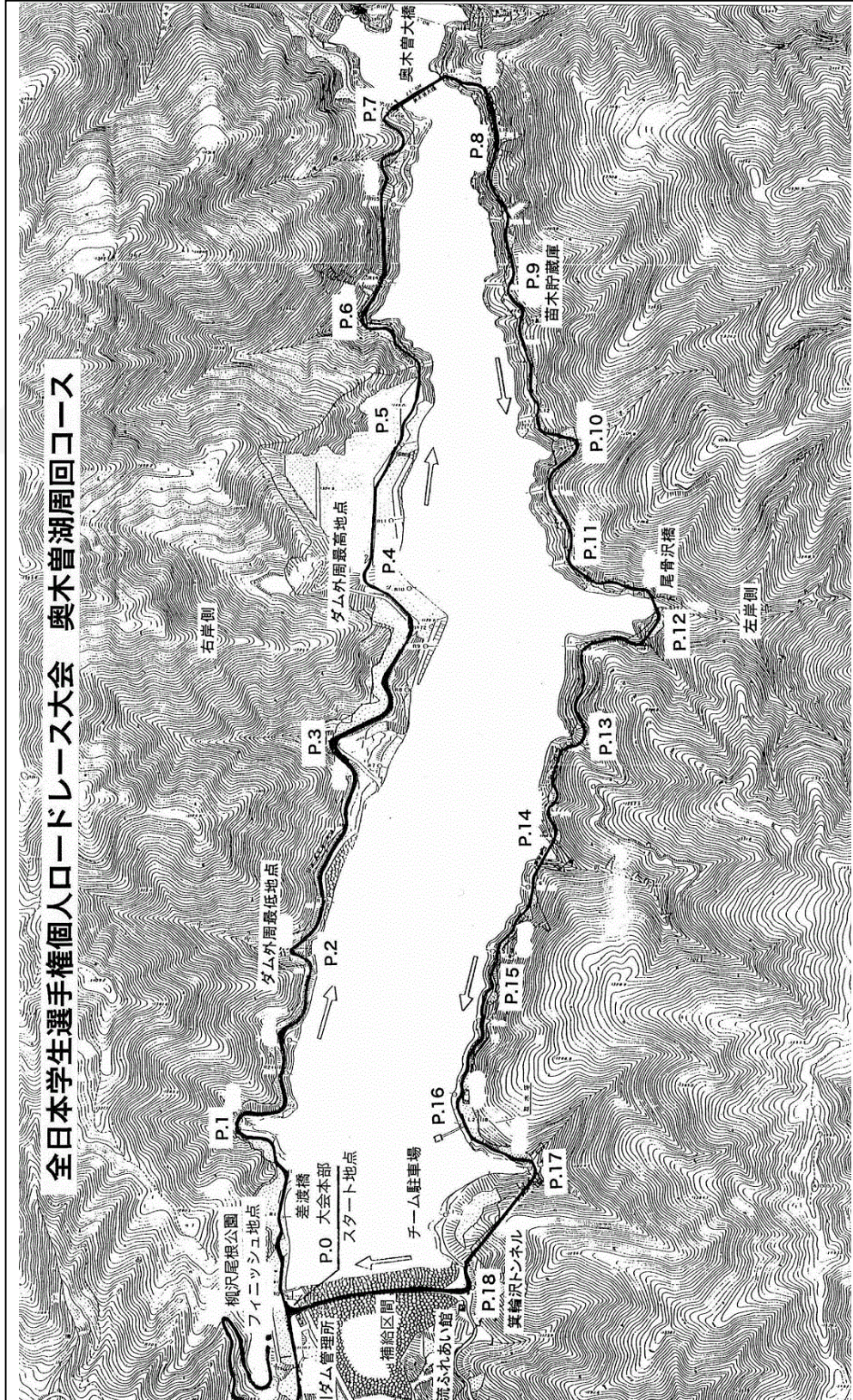
主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催:(公財)日本自転車競技連盟 長野県自転車競技連盟

後援: 木祖村 木祖村観光協会 協賛: 株式会社パールイズミ ブリヂストンサイクル株式会社

公益財団法人 JKA 社団法人全国競輪施行者協議会 やぶはら高原イベント

実行委員会 公益財団法人日本自転車競技会 一般社団法人日本競輪選手会 協力: 独立行政

法人水資源機構味噌川ダム管理所 木曾広域消防本部 株式会社日直商会



全日本学生選手権個人ロードレース大会 奥木曾湖周回コース



この自転車競技大会は、『競輪公益資金』の補助を受けて開催するものです。



第32回 全日本学生選手権個人ロードレース大会

2016年6月11日(土)~12日(日) 長野県木曾郡木祖村・奥木曾湖周回特設コース

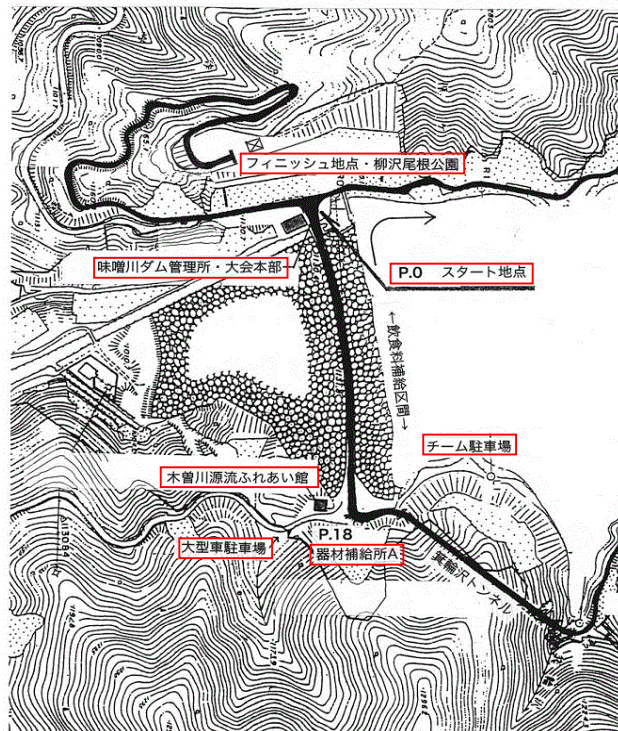
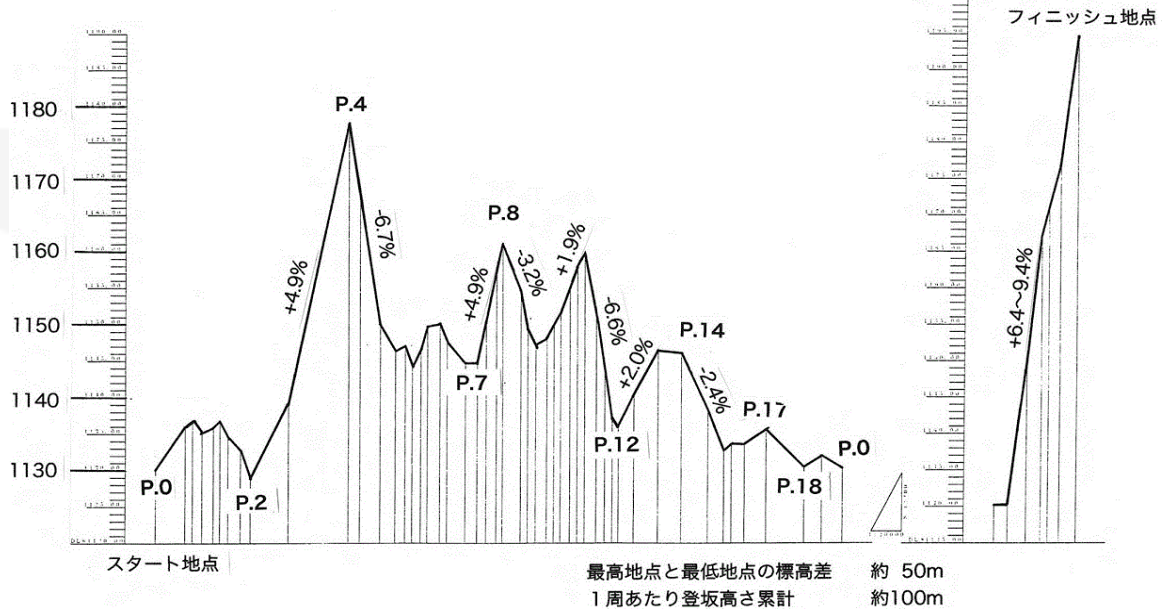
主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催:(公財)日本自転車競技連盟 長野県自転車競技連盟

後援: 木祖村 木祖村観光協会 協賛: 株式会社パールイズミ ブリヂストンサイクル株式会社

公益財団法人 JKA 社団法人全国競輪施行者協議会 やぶはら高原イベント

実行委員会 公益財団法人日本自転車競技会 一般社団法人日本競輪選手会 協力: 独立行政

法人水資源機構味増川ダム管理所 木曾広域消防本部 株式会社日直商会



この自転車競技大会は、『競輪公益資金』の補助を受けて開催するものです。



第 32 回 全日本学生選手権個人ロードレース大会

2016 年 6 月 11 日(土)~12 日(日) 長野県木曾郡木祖村・奥木曾湖周回特設コース

主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催:(公財)日本自転車競技連盟 長野県自転車競技連盟

後援: 木祖村 木祖村観光協会 協賛: 株式会社パールイズミ ブリヂストンサイクル株式会社

公益財団法人 JKA 社団法人全国競輪施行者協議会 やぶはら高原イベント

実行委員会 公益財団法人日本自転車競技会 一般社団法人日本競輪選手会 協力: 独立行政

法人水資源機構味噌川ダム管理所 木曾広域消防本部 株式会社日直商会

大会総務委員長 古川 利勝

1. 賞品および「周回賞」について

本大会後援の木祖村から、大会入賞者に以下の賞品を授与する。

女子(オープン含む)、男子ともに、「周回賞(スプリントポイント)」を設定し、トップ通過の選手には、下記の賞品を木祖村から授与するものとする。

6 月 11 日 (土)

女子オープンレース (100 km)

木祖村賞 1 位・・・道の駅きそむら商品券 2,000 円+源気くんストラップ 1 個

木祖村賞 2 位・・・道の駅きそむら商品券 2,000 円+源気くんストラップ 1 個

木祖村賞 3 位・・・道の駅きそむら商品券 2,000 円+源気くんストラップ 1 個

周回賞 (トップ通過) 3 周回・6 周回・9 周回・・・源気印 (木曾川源流水) 5 本×3 種目 = 15

本

高校生

木祖村賞 1 位・・・道の駅きそむら商品券 2,000 円+源気くんボールペン 1 本

6 月 12 日 (日)

男子レース (181 km)

木祖村賞 1 位・・・道の駅きそむら商品券 2,000 円+源気くんストラップ 1 個

木祖村賞 2 位・・・道の駅きそむら商品券 2,000 円+源気くんストラップ 1 個

木祖村賞 3 位・・・道の駅きそむら商品券 2,000 円+源気くんストラップ 1 個

木祖村賞 4 位・・・源気くんボールペン 2 本+ 源気印 (木曾川源流水) 24 本入り一箱

木祖村賞 5 位・・・源気くんボールペン 2 本+源気印 (木曾川源流水) 24 本入り一箱

木祖村賞 6 位・・・源気くんボールペン 2 本+木曾 ひのき箸 2 膳入り蜜蝋塗り 5 セット

木祖村賞 7 位・・・源気くんボールペン 2 本+ 木曾ひのき箸 2 膳入り蜜蝋塗り 5 セット

木祖村賞 8 位・・・源気くんボールペン 2 本+ 木曾ひのき箸 1 膳入り 5 セット

木祖村賞 9 位・・・源気くんボールペン 2 本+ 木曾ひのき箸 1 膳入り 5 セット

木祖村賞 10 位・・・源気くんボールペン 2 本+ 木曾ひのき箸 1 膳入り 5 セット

周回賞 (トップ通過) 4 周回・8 周回・12 周回・16 周回

・・・源気印 (木曾川源流水) 5 本×4 種目 = 20 本

合計賞品数

◇道の駅きそむら商品券 2,000 円 7 セット 14,000 円

◇源気印 (木曾川源流水)・・・83 本 (1 箱 24 本入×2 箱、他 35 本) 袋 10 枚用意

◇源気くんストラップ・・・6 個

◇源気くんボールペン・・・15 本

◇木曾ひのき箸・・・蜜蝋塗り 2 膳入り 10 セット、1 膳入り 15 セット

PEARLIZUMI

ANCHOR

NICHINAO

日本学生自転車競技連盟
実行委員会

この自転車競技大会は、「競輪公益資金」の補助を受けて開催するものです。

 PEARL IZUMI

 ANCHOR

 NICHINAO

日本が元気の源であるスポーツ
実業団体制 

この自転車競技大会は、『競輪公益資金』の補助を受けて開催するものです。